

志岐高便り

第197号

発行責任者
濱野 正義



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校 長崎県志岐市郷ノ浦町片原88

[TEL]0920-47-0081 [HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

「目標がその日その日を支配する」

教頭 寺田五男



1 目標がその日その日を支配する

大分県出身の大正時代の社会教育家、後藤静香(せいこう) [1884~1971]の『第一步』という詩を紹介いたします。この詩には、目標を大きく持つことの意義が込められています。

『第一步』 後藤静香

十里の旅の第一歩 百里の旅の第一歩
同じ一歩でも 覚悟がちがう
三笠山にのぼる第一歩 富士山にのぼる第一歩
同じ一歩でも 覚悟がちがう
どこまで行くつもりか どこまでのぼるつもりか
目標が その日その日を支配する

『本気』 後藤静香 ※この詩も紹介します。

『本気』
本気ですれば たいていな事はできる
本気ですれば なんでも面白い
本気でしていると だれかが助けてくれる
人間を幸福にするために 本気ではたらいっているものは
みんな幸福で みんなえらい

※一里は約3.9km

三笠山は、標高283mのなだらかな山。一方、富士山は、誰もが知っている標高3776mの日本一高い山で、三笠山とは比較になりません。2つの山に登るに当たっては、事前の装備から心構えに至るまで大きな違いが生まれるのは当然です。しかし、どちらも第一歩の踏み出しから始まるのは同じです。その時、「どこまで行くつもりか どこまでのぼるつもりか」、つまり、目標をどう設定するかによって、同じ一歩でも大きな違いが生まれてきます。だから、目標がその日その日の自分の心構えや行動を支配する(決める)のです。

目標が小さければ、最初の一步はそれほどの覚悟は必要ありません。逆に、目標が大きければ、最初の一步をととても大切に、覚悟を決めて臨まなければなりません。明確な目的意識を持つか持たないかで、同じ学習時間でも、同じ練習量でも違いが出てくるのです。覚悟のある一步を踏み出し、そして、その一步に続く次の一步を止めないでください。自分なりの目標を設定し、覚悟が定まれば、その日に行う学習や練習の内容、それらに向かう態度が決まるのです。成功を収めた多くの人は、明確な目標を持ち、様々な困難を地道な努力で乗り切り、その結果成功をつかんでいます。成功の土台には、他人には分からない苦労の一步一步が必ずあるということです。3月14日(月)に行われた「卒業生講話」で3年生の先輩たちの多くも口にしたことではないでしょうか。この詩を心に留め、是非これまでの日々の学習や部活動などに取り組む姿勢を見直してほしいと思います。

2 原点回帰

「原点回帰」とは、物事の出发点や基本に戻るということです。つまり、物事が進行している途中で出发点に戻って考え直すこと、基本に立ち戻ることという意味です。本校の教育スローガンの1つに「凡事徹底」があります。私自身これまであらゆる機会に、「掃除・挨拶・身だしなみ」を大切にしようと生徒たちに呼びかけてきました。「掃除・挨拶・身だしなみ」とは何でしょうか。

掃除をすることで、協調性、段取り力、謙虚さ、感謝の心などが育まれ、心が磨かれ人間的な成長につながります。挨拶について、「挨拶」は「ひらく、おす」、「挨拶」は「せまる」という意味で、心を開いて相手に近づくことを表します。身だしなみについては、今年度校則の見直しが行われました。生徒の皆さん全員で、自分事としてその場にあった身だしなみをする必要があります。「志岐高生らしさ」を皆さん自身で考える必要があると思います。何でも自分の好きにしてよいのではなく、新たな伝統を作っていく責任があります。本校の卒業生の一人として、これからの皆さんの行動に期待したいと思います。

第 2 学 年 よ り

3年生が卒業し、4月から2学年は最高学年となります。卒業式はオンラインでの参加でしたが、卒業生の答辞、在校生の送辞、それぞれ思いの込められた挨拶に共感する場面も多かったと思います。後日、進路実現を果たした卒業生の先輩方より、合格体験談を伺いました。志望先に分かれて話があり、身近な先輩を通して、進路の最新情報を得ることができました。別日には、3年担任団より、コース別の講義も受けました。担任団の説明はどれも詳細でわかりやすく、進級を控えた生徒の皆さんにとって、次年度への指針を立てる絶好の機会となったのではないのでしょうか。

今年度は、学習面での実力向上、部活動での活躍、学年行事の修学旅行等、多くの場面において、充実した日々が送れたと思います。2年間杵岐高で過ごした生徒の皆さんの成長ぶりを強く感じる1年でした。

保護者の皆様、2年間があっという間に過ぎました。いつも温かいご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。最高学年では、進路実現は勿論ですが、部活動等、様々な活動がクライマックスを迎えます。学年団一同、生徒の皆さんを応援し、進路実現へ向けて尽力しますので、次年度もお力添えください。よろしくお願いいたします。

卒業式後は
各部で先輩
方との別れ
を惜しんだ



第 1 学 年 よ り

「駆け上がれ!自ら創る夢舞台」の学年スローガンのもと、76回生の生徒たちは、自らの進路実現のために1年間頑張ってまいりました。この1年間、感染症対策による制限のかかった学校生活や、GIGAスクール構造に基づくタブレット導入など大きな変化を経験しました。人は前例のないことや、体験したことのない場面に直面すると不安になります。そういうときこそ、自分で考え、動くしかありません。生徒たちはその都度、状況を把握し迅速に対応していました。想像力を働かせ、今自分にできる最大限のことを行動していたと思います。4月からは2年生です。中堅学年として杵岐高校を引っ張っていきけるような学年運営をしてまいります。今後も今まで以上に、授業、部活動、生徒会活動、探究活動に対し、自ら目標を掲げ、自分で考え行動できる生徒を育ててまいります。1年間、ご理解とご協力いただきありがとうございました。今後ともご支援よろしくお願いたします。



式場の設営をする生徒たち



~ Shane's column ~ ☕

First, I would like to give congrats to everyone who has graduated this year! (I'm sorry for not writing this last month) I moved to Iki two and a half years ago. So, this is the first graduating class that I have met as 1st grade students. It was wonderful to see you work hard and grow as people. Good luck!!!

Next, I would like to talk about the spring season, and how it is different in my hometown. In Chicago, it still feels like winter. The weather is cold, and sometimes it will still snow until late March or early April. April feels like the start of spring, and that is our rainy season, followed by flowers blooming and weather getting warmer in May. After long winters, we feel energized when the weather gets nicer. Many people clean their homes during this time, similar to Japanese New Year.

In Japan, Spring is a time for change. Many people start a new school or job during this time. In America, we don't have this same cultural significance. However, as the sun comes out, we do feel better. I always feel in a better mood and more motivated during this time. Let's embrace new challenges and enjoy this season!

彦岐高Topics!

4月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

第74回卒業証書授与式

3月1日(火)第74回卒業証書授与式を実施しました。会場の体育館には卒業生とその保護者の方々が入り、在校生は各教室にて遠隔でその様子を視聴しました。コロナ禍に見舞われ、修学旅行は中止、最後の体育祭は縮小になってしまった74回生。しかし、制限された中にもやり方を模索し、楽しさを見出し、乗り越えていった74回生。後輩たちを引っ張ってくれた姿が頼もしく、眩しかったです。

「学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。」

太宰治『正義と微笑』より

74回生の皆さんの中に、彦岐高校での日々が「一つかみの砂金」となって残っていくことを願い、はなむけの言葉といたします。卒業おめでとう!今後の活躍を祈っています。



校長先生から卒業証書を受け取る74回生



在校生代表 二年生 若宮さんの送辞



卒業生代表 濱崎さんの答辞



74回生 礼をして退場していく



1	金	
2	土	
3	日	
4	月	入学予定者OR 部活動紹介
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	クラス発表 始業式 大掃除 入学式 学年PTA①
9	土	スタディサポート① 学校開放 第1回公務員・就職模試③ 公務員セミナー③
10	日	
11	月	面談 彦岐高テスト①②③ 離島留学生集会 第1回コース交流会
12	火	面談 彦岐高テスト③ 校内研修①
13	水	面談 校内研修① 写真撮影①
14	木	面談 尿検査1次 身体測定・スポーツテスト①
15	金	面談 校内研修①
16	土	
17	日	
18	月	部活動入部集会 内科検診②
19	火	心電図①
20	水	内科検診② 東ア①埋文初顔合せ
21	木	各種専門委員会 耳鼻科検診①・心電図予備
22	金	
23	土	学校開放
24	日	
25	月	内科検診③
26	火	眼科検診①
27	水	内科検診③ 尿検査2次
28	木	歓迎遠足
29	金	【昭和の日】
30	土	



今年度離退任される先生方 ありがとうございました！



寺田 五男	教頭	白山 修	地歴・公民	緒方 則彦	理科	木場田 桃子	家庭科
			3-5担		3-3副		1-5副
			男子バレー		科学・ヒューマンハート		家庭科
	西彼杵高校へ		大崎高校へ		大村高校へ		川棚高校へ
前田 祐作	地歴・公民	茂 沙織	保健体育	浦川 和泉	英語	米村 育	事務
	1-5副		2-1副		1-3副		
	野球・写真		陸上		ソフトテニス(女子)		
	猶興館高校へ		苓岐商業高校へ		聖和女子学院高校へ		県教委等へ
馬渡美加子	離島留学支援員						
							
	退職						

この度の人事異動で9名の先生方が苓岐高校を旅立たれます。
今までありがとうございました。
先生方のご健勝、ご多幸を祈念いたします。



東アジア歴史・中国語 コース

<3年生の離島留学生を見送りました>

親元を離れて、里親様のもと、一人暮らしをしながら様々なことに取り組んだ3年間を終えた離島留学生たちと、最後のお別れをしました。卒業式の後、クラスで保護者や里親様、3年間の苦楽を共にした仲間への思いを伝えるその表情は晴れ晴れとしたものでした。夕方、苓岐空港、郷ノ浦港に向かい、出発して行きました。苓岐空港、郷ノ浦港では島内の同級生や部活動、東アジアコースの下級生に多く見守られながら、名残惜しそうに苓岐を離れて行きました。同じ里親様のところでお世話になっていた後輩達が、先輩方の前途を祝してエールを送ります。離島留学生として3年間大変なことも色々あったと思いますが、きっとこの見送られる瞬間に苓岐の、そして苓岐高校へのイメージが大きく変わっただろうと思います。それぞれの道で頑張れ、離島留学生!!

